

松山市民病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

当院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、POM チェック（膵がん早期診断プロジェクト）を利用し、精査医療機関を受診された患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の結果を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	地域医療連携における膵がん早期発見プログラム（POM チェック）の有用性に関する多機関共同観察研究
研究機関名	松山市民病院
情報の提供を行う研究機関の長	松山市民病院 病院長
試料・情報の提供を行う研究機関の研究責任者（個人情報管理者）	松山市民病院 消化器内科 今村良樹
研究期間	愛媛大学医学部附属病院長許可日 ～ 2032年7月31日
対象となる方	膵がん早期診断プロジェクト（POM チェック）を利用し、2031年7月31日までに精査医療機関を受診した方 2021年1月1日から POM チェック開始（2026年6月1日）までに、精査医療機関で膵癌と診断された方
利用する試料・情報等	■ 医師用チェックリスト項目 膵がんの家族歴、糖尿病の新規発症・急激な増悪、原因不明の上腹部痛・背部痛、体重減少 等 ■ 精査医療機関紹介前の検査結果 画像検査所見：膵腫瘤像、膵管拡張・狭窄、胆管拡張、嚢胞 等 血液検査：リパーゼ、CEA、CA19-9、APOA2 アイソフォーム ■ 精査医療機関での患者背景・検査所見 患者背景：性別、生年月、合併症、既往歴 等 血液検査：アミラーゼ、リパーゼ、グルコース、HbA1c、CEA、CA19-9、DUPAN-2 等

	画像検査：腹部超音波、CT、MRI/MRCP、PET-CT、EUS 等の所見 病理検査：組織診・細胞診結果、腫瘍径、リンパ節転移 等 診断名、治療内容、予後情報（再発・生存状況） 等 ■ 紹介元での経過観察方法
研究の概要 (目的・方法)	【目的】膵がんは早期に発見できれば治癒の可能性が高まりますが、自覚症状が出にくいため発見が遅れることが多い疾患です。本研究は、松山市内の医療機関が連携して行う膵がん早期診断プロジェクト「POM チェック」の有効性を評価することを目的としています。 【方法】POM チェックにより精査医療機関を受診された患者さんの診療記録を収集・解析します。新たに採血や検査を行うことはなく、通常診療の記録のみを使用します。 【評価内容】 ・膵がんと診断された症例に占める早期膵がん(Stage 0・I)の割合 ・早期膵がん (Stage 0・I) の発見率 ・各検査（画像・血液検査・APOA2）の診断精度 ・診断・治療内容・予後 ・POM チェック実施にかかる費用
個人情報の保護 について	この研究で収集される情報は、氏名・住所・生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除し、研究 ID を付与した上で利用します。患者さんを特定するための対応表は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し、外部への提供は行いません。研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。また、本研究のデータを将来の膵がん関連研究に利用する場合は、改めて倫理審査委員会の承認を得た上で実施します。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院 第三内科 小泉光仁 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5308

【共同研究について】

この研究は、以下に記載の他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんの試料・情報等は、氏名や住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、記録媒体を主管機関である愛媛大学医学部附属病院に提供します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究組織】

研究代表者	愛媛大学大学院医学系研究科医学専攻 消化器・内分泌・代謝内科学 小泉光仁
共同研究機関	松山赤十字病院 肝胆膵内科 横田智行 愛媛県立中央病院 消化器内科 黒田太良 四国がんセンター 消化器内科 奥嶋優介 松山市民病院 消化器内科 今村良樹